

回答締切
令和4年10月31日（月）

令和4年度

益田市介護労働実態調査

【事業者向け】



令和4年9月

益田市福祉環境部高齢者福祉課

回答するにあたってお読みください

1. この調査は、施設・サービス事業所の施設長・管理者を対象とした調査です。
2. この調査票における職員の定義は次のとおりです。
 - 「介護職員」とは、各事業所・施設が、人員基準等に基づき配置する全ての介護職員（訪問介護員を含む）で、勤務時間の長短・他職種との兼務の有無は問わず、直接介護を行い賃金の支払いを受けている者を指します。
 - 「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による労働者を指します。
 - 「非正規職員」とは、正規職員以外の労働者を指します。
 - 「非正規職員」の「常勤労働者」とは、事業所の定める正規職員の所定労働時間と同じあるいはそれ以上時間を勤務する者を指し、「短時間労働者」は1日の所定労働時間、または、1週の所定労働時間が常勤労働者より少ない者（いわゆる登録ヘルパーも含む）を指します。
3. ご回答は、選択肢をお選びいただく場合と、数字等を具体的にご記入いただく場合がございます。
4. ご回答はいずれも、**令和4年9月1日時点**の状況でお答えください。
5. 設問または回答した選択肢によっては、一部の方だけに回答をお願いする設問があります。その場合は、説明文、矢印等に従ってお答えください。
6. 選択する数については、「1つ選択」または「あてはまるものすべて選択」等の案内がありますので設問ごとの案内に従ってお答えください。
7. 選択肢の「その他」を選択した場合は具体的な内容を枠内にご記入ください。（文字数の指定がない場合は、30字以内でご記入ください。）
8. この調査は、Web回答も可能です。内容はいずれも同じです。
Web回答を希望される場合は、次のいずれかで回答ページにお進みください。

①益田市高齢者福祉課ホームページからアクセス

トップページ > 組織から探す > 福祉環境部 > 高齢者福祉課 > 介護保険（事業者向け） > 令和4年度 益田市介護労働実態調査の実施について

<https://www.city.masuda.lg.jp/soshikikarasagasu/fukushikankyobu/koreishafukushika/5/7431.html>

②スマートフォン、タブレットからQRコードを読み取り

9. この調査についてのご質問は下記までお願いします。

〒698-8650 益田市常盤町1番1号

益田市福祉環境部高齢者福祉課 事業者指導係

TEL : 31-0218 FAX : 24-0181



1 貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所の運営法人の種類は次のうちどれですか。

あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 民間企業 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. NPO（特定非営利活動法人）
5. その他（ ）

問2 貴事業所で実施する介護保険の指定介護サービス事業はどれですか。

あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 訪問介護 2. 訪問入浴介護 3. 通所リハビリテーション 4. (地域密着型) 通所介護、通所型サービス 5. 認知症対応型通所介護 6. (看護) 小規模多機能型居宅介護
7. 認知症対応型共同生活介護 8. (地域密着型) 特定 9. (地域密着型) 特養、老健、介護医療院、ショートステイ 10. 定期巡回サービス

問3 貴事業所の職種、就業形態別就労人数をご記入ください。

職種	正規職員		非正規職員			
	男	女	男	女	勤務形態	
					常勤労働者	短時間労働者
介護職員						
介護職員以外						

2 貴事業所の運営・雇用管理の状況についてお伺いします。

問4 貴事業所における従業員の過不足感についてお答えください。

あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 大いに不足している 2. 不足している 3. やや不足している → 問5へ
4. 適当 5. 過剰 → 問6へ

問5-1 問4で「大いに不足している」「不足している」「やや不足している」と回答された方にお尋ねします。その要因は何だと思われますか。

最もあてはまるもの1つに○をしてください。

1. 採用が困難なため 2. 離職率が高い（定着率が低い）ため
3. 事業拡大により必要人数が増大したため
4. その他（ ）

問5-2 問4で「大いに不足している」「不足している」「やや不足している」と回答された方にお尋ねします。現状からみて安定的なケア及び運営のために追加で配置したい人数をご記入ください。

() 人

問6 貴事業所の従業者について、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの採用者数をご記入ください。

職種	正規職員	非正規職員	
		常勤労働者	短時間労働者
介護職員			
介護職員以外			

問7 貴事業所の従業者について、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの離職者数及びその離職者の勤続年数をご記入ください。

職種	正規職員			非正規職員		
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
介護職員						
介護職員以外						

**問8 貴事業所における人件費の占める割合は次のうちどれですか。
あてはまるもの1つに○をしてください。**

1. 30%未満
2. 30%以上～60%未満
3. 60%以上～80%未満
4. 80%以上

**問9 貴事業所の収支状況についてお答えください。
あてはまるもの1つに○をしてください。**

問9-1 貴事業所における1年前の同時期と比較した現在の収支状況のうちあてはまるものはどれですか。

1. 増収
2. 増減なし
3. 減収

問9-2 貴事業所における今後の収支見込みについてお答えください。

1. 増収
2. 増減なし
3. 減収

**問10 貴事業所において、経営効率化のために実施した方策は次のうちどれですか。
あてはまるものすべてに○をしてください。**

1. 実施していない
2. サービス事業の種類を増やした
3. 保険外サービスを増やした
4. 営業地域を拡張した
5. 営業地域を縮小した
6. 人件費総額を圧縮した
7. 利用者を要介護度の高い者に絞り込んだ
8. 予防給付サービス事業を実施しない
9. 新規に夜間対応を始めた
10. 一部の指定介護サービス事業を廃止（休止）した
11. その他（ ）

3 貴事業所の教育・研修実施状況についてお伺いします。

問11 貴事業所における教育・研修の取組で実施しているものについてお答えください。
あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 教育・研修の計画策定
2. 先輩職員による指導
3. 上司による定期個別面談
4. 職場内研修会・勉強会
5. 外部研修会・勉強会への派遣
6. 職員の腰痛予防対策
7. 安全対策（事故時の応急措置等）
8. 虐待防止・人権問題
9. その他（)
10. いずれも行っていない

問12 貴事業所の教育・研修の取組の状況についてお答えください。
あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 大いに充実している
2. 充実している
3. やや不足している
4. 不足している

4 貴事業所の人材確保策についてお伺いします。

問13 貴事業所における人材確保の状況についてお答えください。あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 困難である
2. やや困難である → 問14へ
3. あまり困難ではない
4. 全く困難ではない → 問15へ

問14 問13で「困難である」、「やや困難である」と答えた方にお尋ねします。
人材確保が困難な要因についてお答えください。あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 同業他社との人材獲得競争が激しい
2. 他産業に比べて労働条件が良くない
3. 景気が良いため介護業界へ人材が集まらない
4. わからない
5. その他（)

問15 貴事業所における離職の要因は主に何だと考えますか。
あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 賃金水準に満足できない
2. 職場での職員間の人間関係
3. 労働時間、休日等の条件に満足できない
4. 職場の方針と自分の考えが合わない
5. 体力的についていけない等の健康問題
6. 家庭の事情や個人的な事情
7. 自分がやりたい仕事ではない
8. 利用者や利用者家族との人間関係
9. その他（)

問16 貴事業所において取り組んでいる人材確保策についてお答えください。取り組んでいるものに○をして、その効果についてお答えください。

人材確保策	取組	取組の効果		
		効果的	効果的でない	効果は不明
【例】PR等、事業所の情報発信を行っている	○	○		
PR等、事業所の情報発信を行っている				
インターンシップを導入している				
学校等教育機関を訪問し求人活動を行っている				
教育・研修計画を立てて内部・外部研修に積極的に参加させている				
採用時の教育・研修を充実させている				
教育・研修の責任者（兼務を含む）を決めている				
職員に後輩の育成経験を持たせている				
法人全体で連携して育成に取り組んでいる				
地域の同業他社と協力、ノウハウを共有して育成に取り組んでいる				
賃金体系の見直しを行っている				
能力の向上が認められたものは、配置や処遇に反映している				
その他（ ）				

問17 貴事業所における早期離職防止や定着促進のために取り組んでいる方策についてお答えください。取り組んでいるものに○をして、その効果についてお答えください。

早期離職防止、定着促進策	取組	取組の効果		
		効果的	効果的でない	効果は不明
【例】本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	○	○		
本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる				

問2 1 外国人労働者を雇用する上でのメリットについてお答えください。
(外国人雇用の有無にかかわらず、あてはまるものすべてに○をしてください。)

1. 労働力を確保できる 2. 社内環境が活性化できる 3. 異なる視点からの発想を得られる 4. 人件費を抑制できる 5. わからない
6. その他 ()

問2 2 外国人労働者を雇用する上での課題や不安についてお答えください。
(外国人雇用の有無にかかわらず、あてはまるものすべてに○をしてください。)

1. 利用者との会話等での意志疎通 2. 日本語読解力、文章力の不足等による介護記録作成への支障 3. 日本人職員との会話等における意志疎通 4. 生活習慣等の違いによる日常業務への支障 5. 受入方法や活用方法への不安 6. 人件費以外のコスト
7. わからない 8. その他 ()
9. 課題はない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

回答が終わりましたら封筒に入れ、事業所で保管してください。

1 1月初旬に市高齢者福祉課職員が回収にまいります。
